

## 事業報告

2018年度は、各施設の特徴を生かした事業を展開し、文化事業、国際事業いずれの事業も盛況のうちに終えることができました。

指定管理者業務では、町田市民ホールは3期目の5年目を迎えたため、2019年4月から2022年3月までの指定管理者の指定を受けることができました。和光大学ポプリホール鶴川は、当財団と和光産業株式会社との「町田市鶴川緑の交流館指定管理業務共同事業体」として、2期目の2年目となりました。あわせて、市内で活動している文化団体を支援する組織づくりの検討を行いました。

また、財政運営においては、前年度に引き続き、職員の時間外労働手当と光熱水費の縮減に努めるなど経費の抑制を行うとともに、厚生労働省の時間外労働等改善助成金（勤務間インターバルコース）及び東京都の働き方改革宣言奨励金（リフレッシュ休暇及び誕生日休暇制度の導入）の支給を受けました。

### ◎ 芸術文化及び市民文化の向上に関する事業（第1号事業）

#### （1）文化活動の支援及び市民参加型事業

市民が主催（企画）あるいは参加する機会を提供し、内外の多様な人々との交流を図る目的で文化事業を実施しました。

#### 【町田市民ホール】

元NPO法人町田市芸術協会加盟の団体や町田市音楽協会等との協働により、2018年度は14事業を実施し、市民参加が活発に行われ地域文化の向上及び青少年の健全な育成に貢献しました。

主な事業としては、「まちだ全国バレエコンクール」、「全国町田ピアノコンクール」、「クラシックバレエ育成プログラム」などを実施し、若きアーティストの育成及び支援を積極的に推進しました。秋に行った町田市民文化祭には多くの市民が参加し、盛況に終了することができました。また、元NPO法人町田市芸術協会理事長の荒谷俊治氏の名誉市民顕彰を記念して行った写真展には、多くの方にご来場いただきました。

「ホールでピアノを弾いてみませんか？」は、7日間実施し大変好評を得ました。なお、7日間のうち2日間は若きアーティストの育成支援として、町田ピアノコンクール本選出場者に参加していただく機会を提供しました。

町田市民ホール以外の会場で行う「アウトリーチ活動」として、主に町田市在住の演奏家に協力を得て、「ふれあいコンサート」を3回、一般社団法人落語協会の協力を得て、「ふれあい落語」を3回、町田市内の市民センターやコミュニティセンターで実施するとともに、小山ヶ丘小学校や子どもセンターまあちで音楽座ミュージカルによるワークショップも実施しました。いずれも安価な料金で公演を提供し、地域文化の発展に貢献することができました。

### 【和光大学ポプリホール鶴川】

2018年度は30事業を実施しました。町田市にゆかりのある演奏家あるいは町田市近隣の演奏家による「サロンコンサート」を5回、町田市在住の音楽家（東京藝術大学名誉教授）にご協力いただいた「若き演奏家による水曜午後の音楽会」を7回実施し、どちらも毎回多くの来場者があり大変好評を得ました。4年目を迎えた「鶴川ショートムービーコンテスト」を実行委員会の皆様と実施したところ、過去最多87作品もの応募がありました。コンテストの開催に加えて、映画上映会も実施するなど映像文化の発展に力を注ぎました。地域住民が主体的に実施する芸術・文化活動への支援や、「和光大学」との共催事業を含め、市民参加あるいは若手育成の場としても大きく貢献することができました。

## （2）文化の提供事業

国内外の優れた文化事業を安価な入場料金で開催し、市民に提供しました。

### ○主催事業

#### 【町田市民ホール】

主催事業を13事業実施しました。

タレント・俳優としても活躍する田原俊彦、民謡歌手の福田こうへい、演歌歌手の山内恵介など各分野でトップクラスの人気を誇る歌手の公演を始め、テレビなどで活躍する綾小路きみまろのトークライブ、魚類学者でありイラストレーターでもあるさかなクンのトークショーを実施しました。人気落語家である立川談春の独演会、子ども向けクラシック公演「ズーラシアンブラス（音楽の絵本）」や、安価な入場料でのドキュメンタリー映画の上映会など、ジャンルを問わず幅広い公演も実施しました。

また、「民謡魂！」のテレビ公開収録を行い、市民の皆様番組を間近で観覧する機会を提供するとともに、全国放送で町田市の魅力をPRすることができました。

#### 【和光大学ポプリホール鶴川】

主催事業を11事業実施しました。

毎年恒例となっている「菅原洋一コンサート」、「沖仁フラメンコギターコンサート」をはじめ、「川井郁子ヴァイオリンリサイタル」、「栗コーダーカルテット」など様々なジャンルの公演を実施しました。

また、（一財）地域創造の音楽活性化事業で、3日間連続「磯絵里子ヴァイオリンリサイタル」を開催しました。最初の2日間でアウトリーチとして市内4か所、最終日はホール公演を行い、クラシック音楽を身近なものにさせていただきました。

### ○共催事業

#### 【町田市民ホール】

共催事業を17事業実施しました。

高い人気と知名度を持つ渡辺美里によるコンサートを始め、無料公演の「都民寄席」、17年連続実施の「立川志の輔独演会」、人気落語家による「立川志らく独演会」等

の落語公演のほか、海外からの招聘公演である「恐竜どうぶつ園」や「グローリー・ゴスペル・シンガーズ」、町田市出身の落語家とイラストレーターのトークショー「キンぱれ」、楽器体験も楽しめる無料公演「都響プレミアムコンサート」、ダンス公演やお笑い公演等実施しました。2013年12月に町田市とパートナーシップ協定を締結した音楽座ミュージカルなど、継続的な事業も行いました。

#### 【和光大学ポプリホール鶴川】

共催事業として11事業実施しました。

2013年より定期的に行っている「鶴川落語会」をホールで4回、多目的室では地元町田市在住の落語家である「柳家小はぜ勉強会」を6回開催しました。

また、NHK大河ドラマ「西郷どん」のメインテーマを歌い話題となった「里アナコンサート」を開催し大変好評を得ました。

### ◎ 町田市が設置する文化施設等の管理運営に関する事業（第2号事業）

#### 【町田市民ホール管理運営受託】

施設の利用では、市民団体、企業、財団主催及び共催などの多種多様な形態で多くの利用がありました。

ホールの利用率は85.1%、会議室は67.9%、練習室は51.5%、ギャラリーは65.6%で、2017年度に比べ、ホール、会議室及び練習室の利用率は若干下降しましたが、ギャラリーにおいては利用率が上昇しました。

施設の老朽化に伴い、修繕工事が必要な箇所が増加しています。特に、法定点検で指摘があった消防設備等の修繕を行い、その他設備においても耐用年数が経過し劣化したため、多数の箇所の修繕を実施しました。

また、電話やインターネットプロバイダー契約の変更等により、通信費を削減することができました。さらに、フリーWi-Fiの設置工事を行い、ほぼ全館で利用が可能となりました。

#### 【和光大学ポプリホール鶴川管理運営受託】

和光大学ポプリホール鶴川は、2012年9月29日のオープン以来6年半が経過しましたが、施設の利用者はオープン当初より毎日平均して1,500人以上が来館しており、利用の状況も市民団体、企業、財団主催及び共催などの多種多様な形態で多くの利用がありました。

ホールの利用率は84.0%、多目的室は55.4%、練習室は60.4%、会議室は61.3%、エクササイズルームは72.5%で、2017年度に比べ、多目的室、会議室、エクササイズルームの利用が上昇するものの、ホール、練習室の利用率がやや低い状況となっています。

また、施設管理の面では各種点検業務にあわせ防犯・防災に注視した日常管理を行い、安全安心に利用できる環境整備に努めました。

## ◎ 地域における国際交流活動の推進事業（第3号事業）

町田国際交流センターでは、国籍や民族などの異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら、地域社会の構成員として共に生きていくという多文化共生社会の構築のための取り組みを、7つのボランティア部会と共に4つの事業を企画・実施しました。

地域文化の創造と国際交流の促進、街づくりの視点から、子ども教室や日本語教室、相談事業等、外国籍市民への支援事業をはじめ国際理解・国際交流事業の充実を図りました。

なお、2019年4月1日現在、100ヶ国6,421人の外国籍住民が町田市に居住しています。（町田市の人口の約1.5%）2018年4月1日と比較すると、385名増加しており、国籍別では、中国2,486人（39%）、韓国953人（15%）、フィリピン580人（9%）、ベトナム444人（7%）となっています。

### （1）分野別事業活動

#### ① 外国人支援事業

日本語教室8クラスと親子教室の学習者総数は、延べ6,391名、支援者数は114名となっています。毎週土曜日には、子ども教室を開催し、外国籍児童・生徒等25名、支援者30名で教科学習支援、日本語学習支援を実施しました。

10月に、日本語学習者による発表会を和光大学ポプリホール鶴川で開催しました。外国籍市民（学習者）15名が日本語による発表を行い、大変好評を得ました。

日本語学習支援ボランティアのスキル向上のため、ブラッシュアップ講座を3回開催し、125名の参加がありました。

外国人相談部会では、週2回の生活相談に180件の相談があり、年2回行っている専門家による「外国人のための無料相談会」には17件の相談がありました。その他、市民病院等への同行通訳は177件、町田市等からの翻訳依頼は21件あり対応しました。

また、相談業務が的確、円滑に対応できるよう外部講師による研修会を年7回実施し、延べ134名が参加しました。

#### ② 国際理解事業

外国人支援と国際交流への貢献を目指し、合わせて異文化理解の一環として、6言語（英語、中国語、韓国語、スペイン語、タイ語、フィリピン語）11サークルを全20回開催し、345名が参加しました。

8月には「夏休み子どものためのキッズ英語」を開催し、59名の児童が、ゲームや歌、絵本の読み聞かせを通して生きた英語を学びました。

また、ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されることに伴い、9月に東京都と共催で「外国人おもてなしボランティア育成講座」を開催し、受講者60名が修了認定を受け、東京都に「外国人おもてなし語学ボランティア」として登録されました。

国際理解のための懇談会として5月に「外国人の踊りとお話と」、6月に「あまり知らない、もっと知りたい国ネパール」、9月に講演会「新中国に継承された満州国の産業」を開催しました。

小中学校等の総合学習の一環として行われている国際理解教育の支援のため、5校に外国人ボランティア12名を国ごとに各1名派遣し、530名の児童・生徒が国際理解を深めました。

### ③ 国際交流・協力事業

国際交流部会では、2019年2月に外国人住民と日本人住民の交流を目的に第21回国際交流パーティーを開催し179名が参加しました。また、11月には、外国人のためのバスツアーを実施し、東京ドイツ村へ行き日本人と外国人参加者が交流を深めることができました。

留学生との交流を目的にホームステイ（1回）・ホームビジット（3回）、事業を実施し、留学生（46名）と受け入れ家族（32家庭）が、相互の文化を理解し尊重することを学ぶ機会となりました。

日本文化を紹介する事業として、7月・8月には町内会が開催する盆踊り、9月には町田天満宮の例大祭山車巡行に外国籍市民が参加し、日本の伝統文化を体験することができました。そして、10月には「ウエルカムクラブ」の事業を行いました。

国際協力事業として、町田発国際ボランティア祭「夢広場」を11月に開催しました。NGO・NPO団体を中心に22団体が活動紹介やステージイベントを行い、市民との交流を深めました。

また、町田市及び近隣の大学の協力を得て、留学生8名による日本語発表会「留学生トークプラザ」を11月に開催しました。

### ④ 情報提供・連携事業

7月には、町田国際交流センター設立20周年記念式典を開催し、20年間ボランティア活動に従事した6名を表彰するとともに、20年の歩みを綴った記念誌を発行しました。

国際交流センターの活動を広くPRするため、町田市役所イベントスタジオで9月に4日間、和光大学ポプリホール鶴川の交流スペースで10月に5日間、展示・紹介を行い、194名が来場しました。また、7月に第一回南カフェ、12月にはまちカフェにおいてPRを行い、合計300名が来場しました。

昨年に引き続き、パラバドミントン国際大会に6日間延べ108名の通訳ボランティアを派遣しました。また、まちだ〇ごと大作戦として「町田へようこそ外国語でおもてなしプロジェクト」を10月に行われた町田時代祭りを訪れた外国人に対して、ボランティア会員23名が英語による案内や通訳を実施しました。

## ◎ その他この法人の目的を達成するために必要な事業（第4号事業）

### 〔広報事業〕

町田市民ホール、和光大学ポプリホール鶴川、町田国際交流センターの事業を広く市民にPRするため、昨年同様「コンサートガイドまちだ」「ぼろんていえ」をそれぞれ年6回発行しました。なお、市民の方の親和性を高めるため、今までの「コンサートガイド」の誌名を「コンサートガイドまちだ」に変更しました。

また、ホームページ、広報まちだ、市内各所のポスター掲示などにより、市民に様々な情報提供を行いました。

### 〔チケットシステム〕

2017年6月から「かわせみオンラインチケットシステム」を導入しており、インターネット予約、コンビニエンスストア（セブンイレブン）でのチケット受け取りを推進しました。その結果、2019年3月31日時点の会員登録者数は8,256名で、2018年3月31日と比較すると、4,204名増加しました。

### 〔地域貢献事業〕

町田市民ホールのロビー、和光大学ポプリホール鶴川の交流スペースおよびサロンを市民に開放し、展示や福祉団体による物販が行われました。

町田市民ホールでは、事業公演時に町田市シルバー人材センター婦人部が和服を再利用した小物の販売を行いました。

和光大学ポプリホール鶴川では、地域の情報発信基地としての役割を担うため、引き続き鶴川地区協議会による「3水スマイルラウンジ」を毎月第3水曜日に、交流スペースで開催しました。

### 〔協力・後援事業〕

町田市役所での「まちカフェ」、町田市文化交流センターにおける催しなど、町田市民ホールや和光大学ポプリホール鶴川以外での町田市関連施設等における文化関連催物に関して、様々な形で支援や協力を行いました。

また、町田市から、地産地SHOWコンサートや、市役所1階のワンストップロビーでの催しの業務委託を受け実施しました。

### 〔レストラン・カフェ運営〕

町田市民ホールにて「レストラン」の運営を行い、年間営業日数298日において、総客数23,936名の利用がありました。また、和光大学ポプリホール鶴川にて「カフェ」の運営を行い、年間営業日数337日において、総客数43,698名の利用がありました。

### 〔日本文化の体験提供事業〕

9月28日から30日までの3日間、町田市からの委託を受け、町田市総合体育

館で開催されたパラバドミントン国際大会において、(一社)町田市文化協会の協力により、お茶会・生け花・書道・着付けの「おもてなし」を行いました。また、外国の選手や観客が日本の伝統文化を体験する機会を提供するとともに、英語と日本語による解説パネルの展示や、町田国際交流センターの会員が通訳、説明を行ったところ、3日間で1,454名の来客者が訪れました。

東京2020オリンピック・パラリンピックを見据えて、今後も「おもてなし」の事業を継続します。

#### [人材育成]

(公社)相模原・町田大学地域コンソーシアムと連携して、2018年9月から2019年3月までの8日間以上の日程で、町田市民ホールと和光大学ポプリホール鶴川では、麻布大学1名、相模女子大学1名、玉川大学3名、和光大学1名、町田国際交流センターでは、桜美林大学大学院1名、相模女子大学2名、山野美容芸術短期大学2名、計11名の学生インターンシップを受入れました。